

ばばだば
Jサンダーズ広島



久原 大輝

読者の皆さま、新年あけましておめでとございませす。本年も何とぞよろしくお願ひします。1日に発生した令和6年能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げませす。

2024年最初の試合は、広島市で天皇杯王者のパナソニックとの2連戦。天皇杯準決勝のリベンジマッチでもあり、是が非でも勝利をつかみ取りたかったが、連敗

感謝胸に全身全霊



を喫してしまつた。

ストレート負けした初戦の試合後のミーティングでは、井上慎一朗主将、ラッセル副主将、前田選手、唐川選手が発言し、今チーム



笑顔で仲間を迎え入れる新井選手
（右から2人目）
（7日）

としてやるべきことを再確認し、次戦に臨んだ。

スタートからアグレッシブな姿勢を前面に出し、サーブで相手のターゲット選手を攻め続け、ディフェンスもミーティング通り組織的に守り、相手を大いに苦しめた。今後戦う上で、大きな収穫を得たと言つてもいいだろう。

両日とも5800人以上の方々を足で運んでいただき、素晴らしい環境の中でプレーを披露することができた。この場をお借りして御礼申し上げます。

いま一度バレーボールができる環境へ感謝の気持ちを忘れず、さまざまな方へ思いをはせながら、後半戦も全身全霊で戦い続けるつもりだ。（JT広島マネジャー）